

令和7年度 第2回 嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会 会議録

1 審議会等の名称 令和7年度 第2回嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会

2 開催日時 令和8年3月25日 水曜日 午後6時30分～

3 開催場所 碓井庁舎 3階 研修室1

4 公開又は非公開の別 公開

5 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

6 出席者

（1）委員

会 長 伊東新治

委 員 大里雄一郎委員、日野真吾委員、島崎洋子委員、坂田統穂委員、石田英喜委員、
井上 剛委員、高城将昭委員、大庭正二郎委員

（欠席）大山晴美副会長、友松竜治委員、稲富哲市委員

（2）事務局

学校教育課長 大淵 豊 学校教育課参事 近藤暢威 学校教育課付係長 大脇 猛

（欠席）学校教育課教務係 山本昌美

7 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人

8 議題及び協議の内容

【議題】

（1）嘉麻市土曜未来塾について（公開）

（2）嘉麻市放課後英語塾について（公開）

【協議の内容】

（1）嘉麻市土曜未来塾について（公開）

協議の柱：嘉麻市土曜未来塾の来年度の方向性について

本年度の土曜未来塾の実施状況と来年度の方向性について説明し、協議した。

《主な説明内容》

○ 本年度の嘉麻市土曜未来塾の参加者…160名

○ 成果

- ・ 小学校・義務教育学校前期課程の参加者の成績の変容
…26人中15人が向上(57.7%)
- ・ 中学校・義務教育学校後期課程の参加者の成績の変容
…26人中18人が向上(69.2%)
- ※ 参加率75%以上の児童生徒を調査対象
- ※ 小学校・義務教育学校前期課程の参加者の成績については、昨年度と本年度の標準学力調査の結果を比較
- ※ 中学校・義務教育学校後期課程の参加者の成績については、4月のフクトの学力テストと3年生(9年生)は11月、1・2年生(7・8年生)は1月の学力テストとの結果を比較
- ・ 中学校・義務教育学校後期課程の参加者の進学率…100%

○ 来年度の方向性

- ・ 予算削減に伴う会場責任者を務めていた学力向上推進室の指導主事数減により、会場を各中学校区の1校に変更(牛隈小学校の会場がこれまでの牛隈公民館から嘉穂中に変更。熊ヶ畑小学校、上山田小学校、下山田小学校、山田中学校の会場がこれまでの山田生涯学習館、白馬ホールから山田中学校に変更)
- ・ 更なる参加者の増加に向けた取組
 - 案内チラシの配布
 - すぐメールを使つての周知
 - PR動画の作成
 - 事業の趣旨の説明(学校の教職員)

《主な協議》

- 牛隈小の子どもの会場が嘉穂中まで行かないと参加できないというのは、非常に残念。校区外へ子ども達だけで行くのは学校のきまりで止められているため、保護者の送迎がなければ土曜未来塾に参加できないとなってくる。何か工夫をしていただけたらと思う。例えば、隔週で行うなど。他の学校は自分たちで行けるのに、学校によっては保護者の送迎がなければ参加できないとなると、地域によって大きな差がでてしまうのではないか。
- 隔週でするなど、教育委員会内でも意見は出ていたが、学習習慣を身に付けるという目的を考えると連続で行うことが大切なのではないかという話になった。このことは牛隈小学校の校長先生にも相談し、今の提案の形になった。保護者の方にも理解してもらいながら、この形で進めていきたいと考える。
- 無料でできるからとりあえず申し込んでみようではなく、他の学校で行われるのであれば送り迎えが必要だがそれでも参加するかなど、きちんと考え申し込むことにつ

ながるのではないか。一方、参加させたいのだが送り迎えができないので断念するというご家庭もでてくることも考えられる。

- 経過を見ながらやっていけたらと思う。小中一貫教育という視点から見ると、最終的に進学する進学校に通うというハードルを少し下げることにつながるのではないかと考えられる。予算が一気に増えるというのは不可能なので、子ども達の学びの場を少しでも確保しながらやっていくと方向で、皆様の意見をいただきながら、改善できるところは改善しながら進めていただきたい。

(2) 嘉麻市放課後英語塾について (公開)

協議の柱：嘉麻市放課後英語塾の来年度の方向性について

本年度の放課後英語塾の実施状況と来年度の方向性について説明し、協議した。

《主な説明内容》

- 本年度の実施内容
 - ・ 英検3、4、5級合格を目的に行う外部業者への委託によるオンラインでの英語授業
 - ・ 市内中・義務教育学校をオンラインでつなぎ、電子黒板ごしに一斉学習にて実施
 - ・ 本年度は、年12～15回の実施
- 本年度の成果
 - ・ 86名の参加者（昨年度より43名増）
 - ・ 英検団体受検 44名の受検（うち36名が合格）
 - ※ 放課後英語塾の参加者 27名の受検（うち19名が合格）
- 本年度の課題
 - ・ 出席率が低い生徒が見られる。
(原因)
無料ということなので、とりあえず申し込んでいる家庭もあった。
(来年度の方向性)
 - ・ 「申込は、原則、毎回参加できる方に限る」ということを募集案内に明記したり、教師から声掛けを行ったりしていく。
 - ・ 場合によっては、途中での退塾を進める。
 - ・ 学習への意欲が低い生徒が見られる。
(原因)
自分の英語力と選んだコース内容があっていない。
(来年度の方向性)
 - ・ 第1回目をお試し授業とすることで、周知を図るとともに、自分の英語力にあったコースを選択できるようにしていく。
 - ・ テキストを嘉麻市教育委員会所有とし、教育委員会から受講者に配付する形

をとることで、途中でのコース変更を可能にする。

※ 上限100名（テキスト100セット）という範囲内で行うという条件で業者からの承諾済み。

- ・ A・Bコースの生徒の学力の伸び悩みが見られた。

(原因)

3コースにしたためA・Bコースの実施回数が少ない。また、Bコースについては1・3学期の実施のため学習期間が空いてしまい、定着を十分に図ることができていない。

(来年度の方向性)

3・4級を対象としたAコースと、5級を対象としたBコースの2コースにすることを通して、年間16回～19回の授業を確保する。

○ その他

嘉麻市主催で行う英検団体受検を来年度は2回（10月、1月）実施する

- ・（4級、5級の受検者のみ）不合格だった者が同じ準会場にて受検する場合に限り、1回のみ受検料が無料（受検後、2回目の検定まで）

《主な協議》

- 高校入試の際に英検3級を持っていたら、少し有利になる学校もある。それを考えると1月の英検団体受検では間に合わない。12月実施などはできないか。
- 英検の制度が6月受検、10月受検、1月受検と決まっている。そのため、2回実施となると10月受検と12月受検しかないと考える。6月では前年度頑張った分で受ける形となる。10月だと、その年度に頑張った成果を発揮できる。1月は10月でもう少しだった子たちが再度チャレンジできる。このようなサイクルがある。確かに受験を考えると悩ましいところがあるが、そのような制度の中で行っているのでは仕方ないのではないか。
- 受検生には、「有利になることもあるよ」ということを十分に理解してもらい、頑張ってもらいたい。
- 私の学校では、2年生のころから英検受験を進めている。そうすると、子どもたちの意識もだいぶ違ってくる。
- チャンスが2回になるということで、放課後英語塾に臨ませていく。合格することで大きな自信につながるので、学校と協力しながらもっと広報してもらいたい。
- 紙媒体のチラシなどに効果などをつけてもらい、見た人に伝われば、さらによさが広がるのではないか。
- 本校が来年度4月末に家庭訪問を行う。募集案内を配るだけテトルで配信するだけでは関心のない保護者には届かない。定員を満たしていなければ申込期間が過ぎても改めて募集を行うということなので、やはり参加して欲しい子の保護者に担任から話をしていくことで案内していきたい。動画視聴についても、2月の中旬に学習参観と

個人懇談会を行うので、その際に動画を流すなどして、保護者に周知を図っていきたい。

9 配付資料

レジュメ